

吉野川市汚水処理施設整備構想（素案）

徳島県吉野川市

目次

1 汚水処理施設整備構想	1
1.1 構想の目的	1
1.2 汚水処理の概要	1
2 吉野川市の現状	2
2.1 整備状況	2
2.2 主な汚水処理施設	3
3 吉野川市汚水処理施設整備構想	4
3.1 将来人口の推計	4
3.2 吉野川市汚水処理施設整備構想（案）	4
吉野川市汚水処理施設整備構想図 [令和2年度現況] ...	5
吉野川市汚水処理施設整備構想図 [令和8年度目標] ...	6

1 汚水処理施設整備構想

1.1 構想の目的

徳島県では、公共下水道、集落排水施設、合併処理浄化槽などの汚水処理施設について、効率的な整備を進めるための指針として「とくしま生活排水処理構想 2017～きれいな水環境の創造に向けて～（以下、県構想）」を平成 29 年度に策定しました。

吉野川市においても、市全域を対象とし、効率的な汚水処理施設の整備を推進するために「吉野川市汚水処理施設整備構想（以下、市構想）」を策定しました。

これらの県構想および市構想をもとに、汚水処理施設の整備を進めた結果、令和 2 年度末現在の汚水処理人口普及率^注は、徳島県が 64.6%、吉野川市が 73.1%に達しました。しかし、汚水処理人口普及率の全国平均は 92.1%に達しており、徳島県は全国平均と比較して汚水処理人口普及率が低水準であるため、今後ともより一層、効率的かつ適正な汚水処理施設の整備を推進していくことが重要になります。

そのため県では、県構想を策定して 5 年が経過したことを受け、県構想の進捗状況や県構想策定時の将来人口の想定値及び実績等を確認し、その内容を勘案して県構想の見直しを行う予定となっております。吉野川市においても、県構想の見直しに合わせ、市構想の進捗状況や市構想策定時の将来人口の想定値及び実績等を勘案し、吉野川市汚水処理施設整備構想を見直します。

1.2 汚水処理の概要

本市は、吉野川をはじめとする公共用水域の水質保全および生活環境の改善を目的として、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業及び合併処理浄化槽設置整備事業等を行い、汚水処理施設の整備を推進しています。

本市では、市街地等について公共下水道および特定環境保全公共下水道で整備を、農業振興地区域内の集落について農業集落排水施設で整備を行っており、その他の地域では合併処理浄化槽の普及を進めています。

公共用水域の水質保全および生活環境の改善を図るためには、今後とも汚水の適正な処理を推進していくことが重要です。

注：総人口に対する、汚水処理施設の処理区域内人口等の割合。

2 吉野川市の現状

2.1 整備状況

吉野川市の汚水処理人口普及率は、令和2年度末で73.1%となっています。

表 2.1 処理人口及び普及率

項目	2012年 (H24年)	2013年 (H25年)	2014年 (H26年)	2015年 (H27年)
行政人口(住民基本台帳人口)	44,272	43,753	43,235	42,680
汚水処理人口	26,708	27,355	28,154	29,318
下水道	20,693	20,974	21,018	21,065
農業集落排水施設	2,362	2,359	2,310	2,288
合併処理浄化槽	3,653	4,022	4,826	5,965
市町村整備推進事業等	0	0	0	0
浄化槽整備事業	2,307	2,676	2,796	3,131
民間設置	1,346	1,346	2,030	2,834
汚水処理人口普及率(%)	60.3	62.5	65.1	68.7

項目	2016年 (H28年)	2017年 (H29年)	2018年 (H30年)	2019年 (R元年)	2020年 (R2年)
行政人口(住民基本台帳人口)	42,128	41,592	41,139	40,470	39,912
汚水処理人口	29,450	29,438	29,327	29,136	29,163
下水道	21,066	21,013	20,783	20,528	20,508
農業集落排水施設	2,265	2,214	2,226	2,201	2,165
合併処理浄化槽	6,119	6,211	6,318	6,407	6,490
市町村整備推進事業等	0	0	0	0	0
浄化槽整備事業	3,275	3,388	3,470	3,594	3,640
民間設置	2,844	2,823	2,848	2,813	2,850
汚水処理人口普及率(%)	69.9	70.8	71.3	72.0	73.1

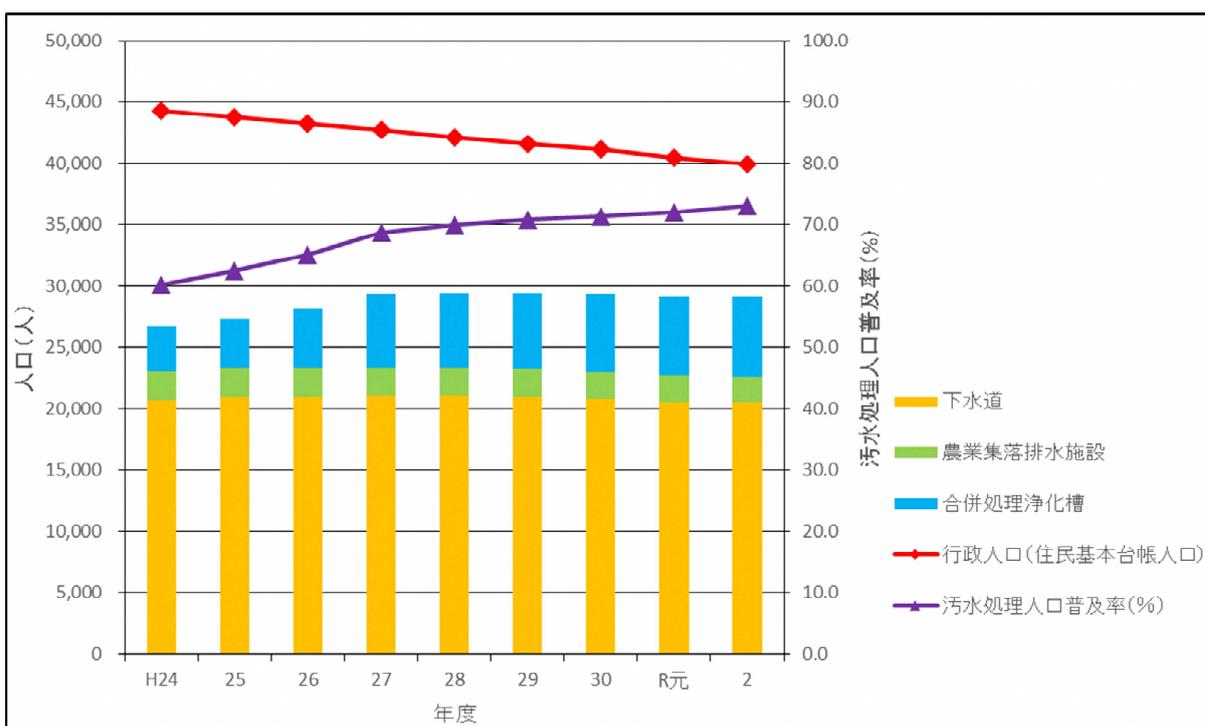


図 2.1 汚水処理人口と普及率の推移

2.2 主な汚水処理施設

令和2年度末において吉野川市で稼働している主な汚水処理施設を以下に示します。

表 2.2 下水道事業

種別		公共下水道	特定環境保全公共下水道		
処理区名		中央処理区	川島処理区	川田処理区	
処理場名		鴨島中央浄化センター	川島浄化センター	川田浄化センター	
全体計画	計画目標年次	令和12年度	令和12年度	令和12年度	
	計画面積 (ha)	993.0	229.3	277.2	
	計画人口 (人)	19,230	6,040	4,390	
	計画汚水量 (m ³ /日)	日平均	9,040	2,890	2,200
		日最大	11,540	3,610	2,730
	排除方式	分流式	分流式	分流式	
処理方式	オキシデーション ディッチ法	長時間 エアレーション法	長時間 エアレーション法		
事業計画	計画目標年次	令和4年度	令和4年度	令和4年度	
	計画面積 (ha)	854.8	82.7	137.1	
	計画人口 (人)	17,890	1,980	2,930	
	計画汚水量 (m ³ /日)	日平均	8,410	980	1,570
		日最大	10,730	1,220	1,920
現況	処理面積 (ha)	723.0	66.2	113.2	
	処理人口 (人)	13,652	835	1,274	
	処理能力 (m ³ /日)	10,500	950	1,035	

表 2.3 農業集落排水事業

地区名		神後地区	山崎南地区	川田北地区
処理場名		神後汚水処理場	山崎南浄化汚水処理場	川田北汚水処理場
計画面積 (ha)		40.5	40.0	74.0
計画人口 (人)		1,085	850	1,160
処理方式		連続流入間欠 ばっ気法	流量調整・嫌気性ろ床 及び接触ばっ気法	連続流入間欠 ばっ気法
計画汚水量 (m ³ /日)	日平均	313	229	605
	日最大	449	281	672
施行年度 期間	採択年度	平成8年度	平成5年度	平成6年度
	完了年度	平成17年度	平成8年度	平成14年度
供用開始年度		平成18年度	平成9年度	平成15年度
現況	処理人口 (人)	820	651	694
	処理戸数 (戸)	372	286	295
	処理能力 (m ³ /日)	449	281	672
	流入水量 (m ³ /日)	237	280	157

3 吉野川市汚水処理施設整備構想

3.1 将来人口の推計

推計の結果、吉野川市における将来人口は減少傾向が続き、約 15 年後の令和 17 年度には令和 2 年度と比較し、20%程度減少すると推測されます。

表 3.1 将来人口の推計

年次	令和 2 年 10 月 (2020) 国勢調査速報	令和 8 年度 (2026) 中期目標年次	令和 17 年度 (2035) 長期目標年次	減少率 (%) R2→R17
将来行政人口 (人)	38,783	35,746	30,878	20.4

参考：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口（平成 30 年推計）」

3.2 吉野川市汚水処理施設整備構想（案）

本市においては、今後も公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業及び合併処理浄化槽設置整備事業等により、汚水処理を行っていきます。なお、公共下水道及び特定環境保全公共下水道に関しては、整備の進捗状況、未整備区域の家屋立地状況及び合併処理浄化槽普及状況、汚水処理施設の整備に関する費用対効果などを総合的に勘案し、一部区域を縮小して合併処理浄化槽の普及促進を図ることとします。

汚水処理人口普及率については、公共下水道及び特定環境保全公共下水道の計画区域内について整備を進めるとともに、合併処理浄化槽区域について、設置補助を行うなどの取り組みにより、向上に努めてまいります。

見直し後の構想における 5 年後（令和 8 年度）の汚水処理人口普及率は、95%程度となる予想です。また、別紙に示しますとおり、公共下水道及び特定環境保全公共下水道の計画区域内の整備は概ね完了となる予定です。

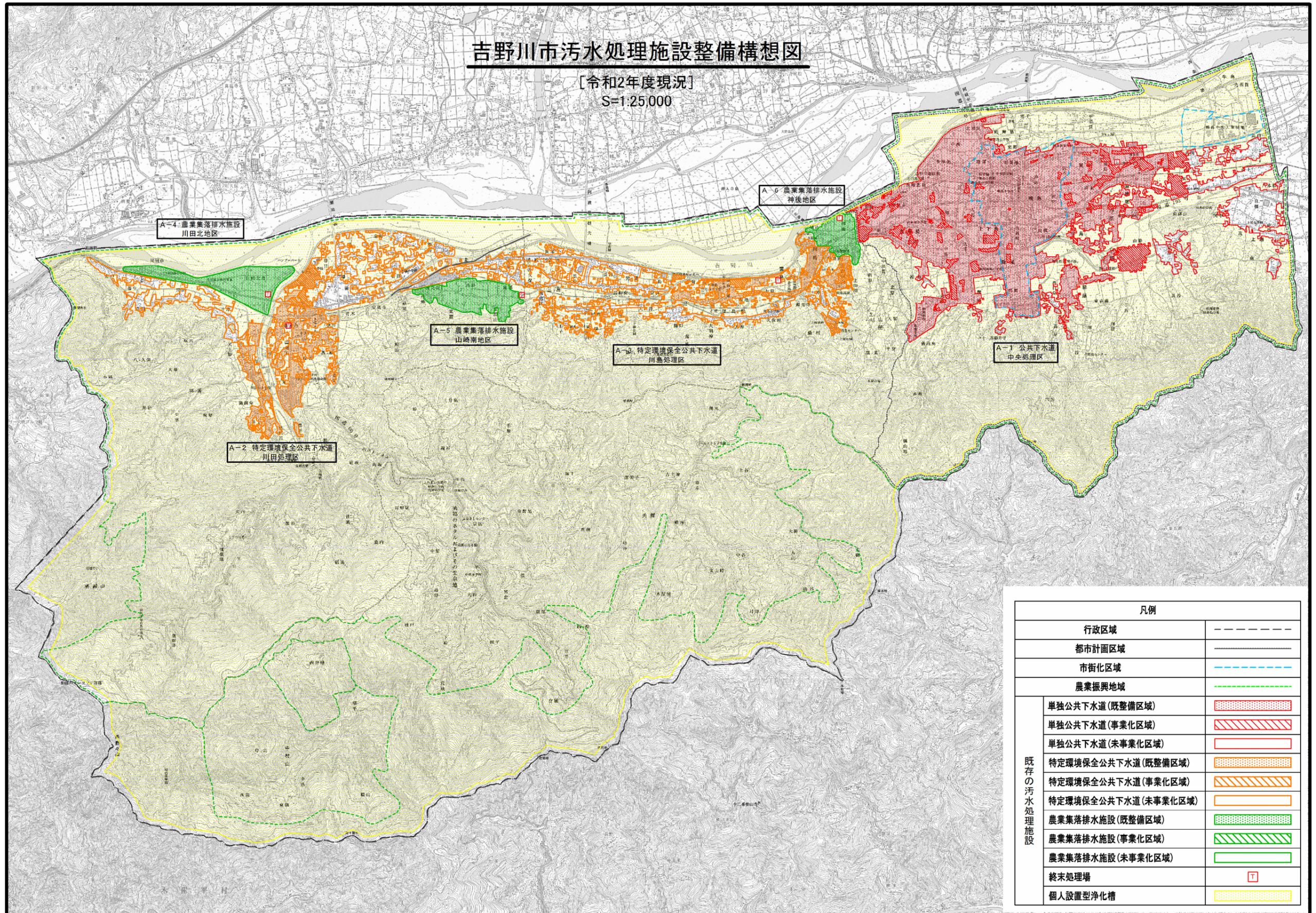


図 3.1 吉野川市汚水処理施設整備構想図 [令和 2 年度現況]

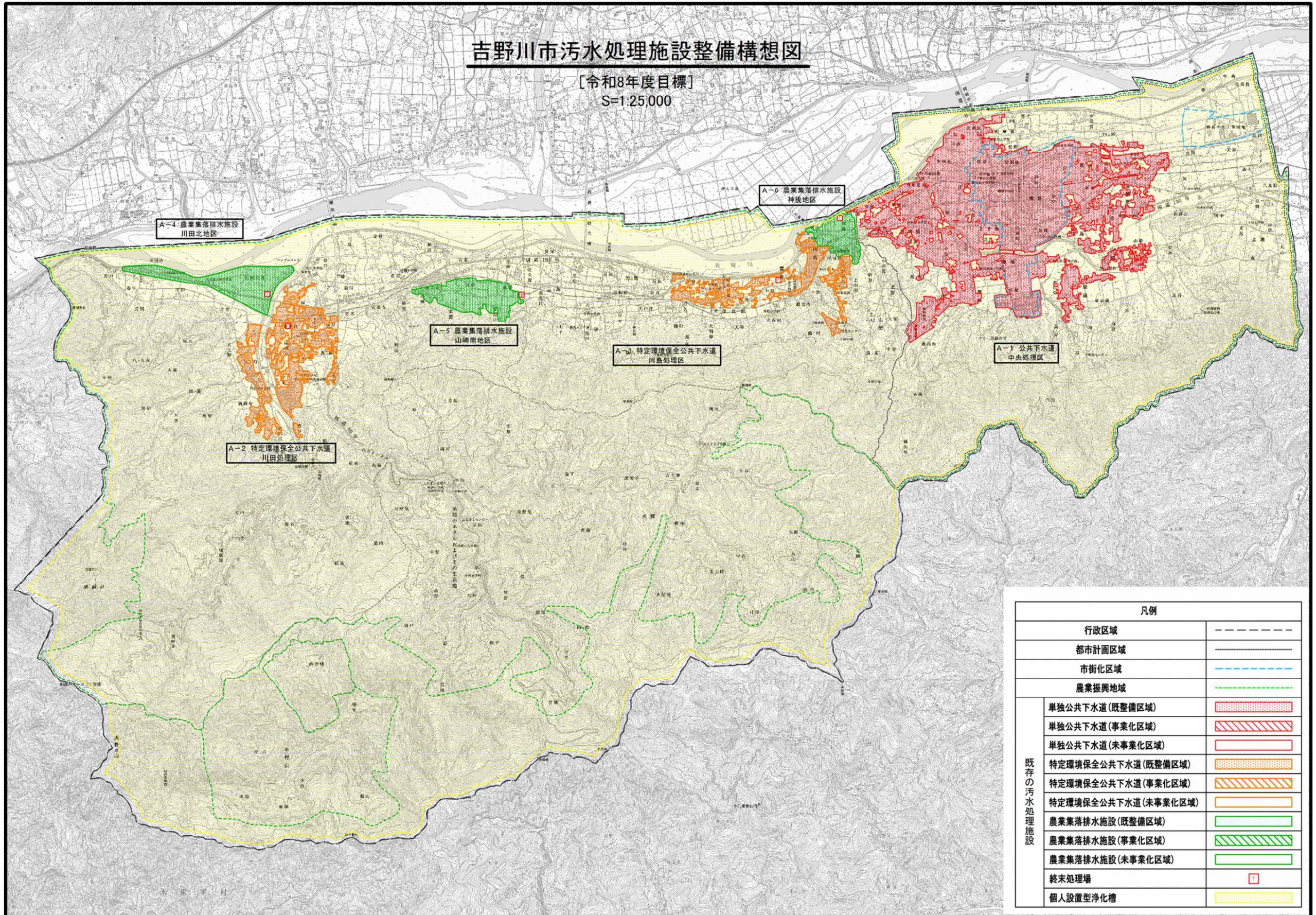


図 3.2 吉野川市汚水処理施設整備構想図 [令和 8 年度目標]